

残留農薬検査(その4)

当所では、横浜市内に流通する農作物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より農作物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。

今回は、平成24年1月から3月の期間に食品専門監視班より搬入された農作物等の検査結果を報告します。

1 市内産農作物

1月に搬入されたネギ及び白菜(各3検体)の計6検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、ネギ1検体から農薬が検出されました。ただし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 輸入農作物

1月に搬入されたオレンジ(1検体)、かぼちゃ(3検体)、グレープフルーツ(2検体)及びスウィーティ(1検体)の計7検体について残留農薬検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、かぼちゃ1検体、グレープフルーツ1検体及びスウィーティ1検体から農薬が検出されました。ただし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出された農薬の概要については、10ページからの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H24年1月～H24年3月)

農作物	産地	検査検体数	農薬検出検体数	検出農薬名	検出値(ppm)	基準値(ppm)
市内産農作物						
ネギ	横浜市	3	1	アゾキシストロビン	0.01	10
白菜	横浜市	3	0			
輸入農作物						
オレンジ	アメリカ	1	0			
かぼちゃ	メキシコ	3	1	ミクロブタニル	0.02	1.0
グレープフルーツ	アメリカ	2	1	アゾキシストロビン	0.02	2
スウィーティ	イスラエル	1	1	クロルピリホス	0.36	1
				ピリメタニル	0.04	15

表2 農薬の検査項目及び検出限界(113項目)

農薬名	検出限界(ppm)	農薬名	検出限界(ppm)	農薬名	検出限界(ppm)
BHC(α、β、γ及びδの和)	0.005	シハロトリン	0.01	フェンクロルホス	0.01
DDT(DDE、DDD及びDDTの和*)	0.005	シフルトリン	0.01	フェンスルホチオン	0.01
EPN	0.01	シペルメトリン	0.01	フェンチオン	0.01
アクリナトリン	0.01	ジメチルピホス	0.01	フェントエート	0.01
アセタミプリド	0.01	ジメトエート	0.01	フェンバレレート	0.01
アゾキシストロビン	0.01	シメトリン	0.01	フェンピロキシメート	0.01
アルドリン及びディルドリン	0.005	スルプロホス	0.01	フェンプロパトリン	0.01
イソフェンホス	0.01	ダイアジノン	0.01	ブタクロール	0.01
イソプロカルブ	0.01	チアクロプリド	0.01	ブタミホス	0.01
イプロベンホス	0.01	チアメトキサム	0.01	ブプロフェジン	0.01
イミダクロプリド	0.01	チオベンカルブ	0.01	フルジオクソニル	0.01
インドキサカルブ	0.01	チフルザミド	0.01	フルシトリネート	0.01
エスプロカルブ	0.01	テトラクロルピホス	0.01	フルトラニル	0.01
エチオン	0.01	テトラコナゾール	0.01	フルバリネート	0.01
エトプロホス	0.005	テトラジホス	0.01	プロシミドン	0.01
エトリムホス	0.01	テブコナゾール	0.01	プロチオホス	0.01

表2 農薬の検査項目及び検出限界(113項目) (続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	テブフェノジド	0.01	プロパホス	0.01
エンドリン	0.005	テブフェンピラド	0.01	プロピザミド	0.01
オキサミル	0.01	テフルトリン	0.01	プロメカルブ	0.01
カズサホス	0.01	テフルベンズロン	0.01	プロモプロピレート	0.01
カフェンストロール	0.01	デルタメトリン及びトラロメトリン	0.01	ヘキサコナゾール	0.01
カルバリル	0.01	テルブホス	0.005	ヘキサフルムロン	0.01
クレソキシムメチル	0.01	トリアジメノール	0.01	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005
クロチアニジン	0.01	トリアジメホン	0.01	ペルメトリン	0.01
クロマフェノジド	0.01	トルクロホスメチル	0.01	ペンコナゾール	0.01
クロルピリホス	0.01	パラチオン	0.01	ホサロン	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	パラチオンメチル	0.01	ボスカリド	0.01
クロルフェナピル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01	マラチオン	0.01
クロルフェンソン	0.01	ビフェントリン	0.01	マイクロブタニル	0.01
クロルフェンビンホス	0.01	ピペロホス	0.01	メチダチオン	0.01
クロルプロファム	0.01	ピラクロストロビン	0.01	メキシフェノジド	0.01
クロロクスロン	0.01	ピリダフェンチオン	0.01	メトラクロール	0.01
シアノフェンホス	0.01	ピリブチカルブ	0.01	メトリブジン	0.01
シアノホス	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	メビンホス	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	リニューロン	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	ピリミホスメチル	0.01	リンデン(γ-BHC)	0.002
ジクロラン	0.01	フェナリモル	0.01	ルフェヌロン	0.01
ジコホール	0.01	フェントロチオン	0.01		

※ DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

【農薬解説】

○アゾキシストロビン

『アミスター』などの商品名で販売されている殺菌剤で、多くの菌類に対し強い抗菌効果があります。

平成23年度に実施した検査において、きゅうり、なし、ブドウ(市内産)、いんげん(オマーン産)、バナナ(フィリピン産)及びブロッコリー(アメリカ産)からも検出されました。

○クロルピリホス

『ダズバン』などの商品名で販売されている殺虫剤です。果樹害虫防除用の薬剤で、特にハマキムシ類に効果があり、速効性と残効性があります。

平成23年度に実施した検査において、ホワイトアスパラガス(ペルー産)からも検出されました。

○ピリメタニル

『スカーラ』などの商品名で販売されている殺菌剤です。各作物の灰色かび病を中心に、いちごのうどんこ病やりんご等の黒色病に効果があります。

○マイクロブタニル

『ラリー』などの商品名で販売されています。野菜や果樹などのうどんこ病、さび病、黒星病などに有効的で、予防効果と治療効果を併せ持つ農薬です。

平成23年度に実施した検査において、かぼちゃ(メキシコ産)及び冷凍いんげん(タイ産)からも検出されました。

※参考文献

- ・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版
- ・農薬残留分析法研究班、最新農薬の残留分析法(改訂版)
- ・農林水産消費安全技術センター及び各農薬製造会社H.P.

【 検査研究課 微量汚染物担当 】